ONE for ALL 2(189) J-LEASE COMPANY NEWSLETTER 2023 February



THE CEO Column

title: 2023年/年頭訓示



【社長近影/豊和銀行 権藤頭取が東京本社にご来社されました】

2023年、令和5年の新年、皆さんあけましておめでとうございます、社長の中島です。

新年にあたりまして年頭訓示を申し述べます。

さて、昨年は誰もが予想だにしなかったロシアのウクライナ侵攻に始まり、記録的な円安、収まりの見えないコロナ禍の中、国内においては日本のリーダーが凶弾に倒れ、民主主義が根底から問われるなど波乱に満ちた一年でありました。

また、業界では同業他社の個人信用情報センターへの入会が進み、併せて現在、同業数社が上場の準備を進めていると聞いております。

しかし、我々は先行して2016年に上場を果たし、また、2019年には個人信用情報を審査に用いており、同時に東証プライムの上場企業として常に市場からの評価を受けながらコンプライアンス、ガバナンスを最重要視した経営に取り組んでおります。

併せて、昨年は「共創」の掛け声の元、まさに[One for AII]の力を合わせ、営業、債権管理、審査の三部門はいずれも連動しその相乗効果も相まって創業以来の最高益を計上することができました。

同時に、バックヤードの皆さんも、効率化、新システムの開発に取り組んでいただき、ミスの少ない業務で成果を発揮していただきました。全ての皆さんの頑張りに心から感謝を申し上げます。

しかし、前述の通り、我々は東証プライム企業として、 また業界のリーダーとして、常に世間から注目される立 場にあります。

『築城三年、落城三日』

役職員の誰か1人でもコンプライアンス違反、ガバナンス違反でマスコミや社会から批判を受けるようなことがあれば、ジェイリースが今まで長い時間をかけて培って来た信用は一瞬で瓦解します。皆さんもそこは充分理解していただいていると思いますが、今後とも「ジェイリースは紳士たれ」の精神を忘れることなく業務に邁進していただきたいと思います。

さて、ジェイリースは2004年の創業ですので本年で創業20年目という大きな節目を迎えます。

20年前の2月、大分市都町堀川ビルの一室でたった2 人の社員と共に産声を上げたジェイリースは波乱と飛躍の20年を超え、東証プライムに上場を果たし、今日のこの日を迎えています。

この20年の振り返りにつきましてはまた別の機会にしたいとは思いますが、まずは2023年の新年にあたり、この間、会社を支えていただいたお客さま、関係各位、ステークホルダーの皆さま、そしてなによりも役職員の皆さまに心から感謝を申し上げます。

しかし、ここは我々の終点ではありません。

我々は今この時こそ、このビジネスに新機軸を提案、構築する新たなスタートを切らなければなりません。

その意味で、私は2023年のスローガンを『進化~ New Start!~』といたしました。皆さんと今日から又新たな20年のスタートを切りたいと思います。

前述のとおり、業界の流動化、差別化は今後ますます進行していきます。

2023年のジェイリースは、ジェイリースの新しい価値を共に生み出していく、進化の年にしなければなりません。

我々なら必ずできます。

2023年が『進化~New Start!~』の掛け声のもと、アフターコロナの主役となり、更なる最高益を計上する記録的な年になることを確信し、私の年頭訓示とさせていただきます。

今年も共に頑張りましょう!

2023年1月4日 大分本社にて ジェイリース株式会社 代表取締役社長兼会長 中島 拓

トップ会談

~スポーツを通じた社会貢献~



中島

本日はお忙しいところ弊社東京本社までお越しいただきありがとうございます。本日は貴グループが運営されている、大分県を代表するサッカーチーム『ヴェルスパ大分』についてのお話を伺えるとのこと、楽しみにしておりました。よろしくお願いいたします。まずはチームについてご紹介をお願いいたします。

清原

ヴェルスパ大分はJFL (日本フットボールリーグ) に所属している サッカーチームです。

2003年に「HOYOFC」として発足、2012年にJFLに参入し、11年目である2022年は8位でシーズンを終えました。

2021年2月に「Jリーグ百年構想クラブ※1」に認定いただき、同年9月には「J3クラブライセンス」交付の判定を受け、本格的にJ3昇格を目指し基盤を整えています。

2022年の昇格は果たせなかったものの、来シーズンに向けて準備をしているところです。

中島

貴チームのJリーグ百年構想クラブ認定、J3クラブライセンス取得のニュースを見たときは、この大分県に2つのJチームができるかもしれない、とワクワクいたしました。

クラブ名について「HOYOFC」は貴グループの豊洋精工㈱から由来したものと思いますが、現在の「ヴェルスパ大分」の由来は何でしょうか。

清原

Vermelho(赤)、Spa(温泉)、h(豊洋)を組み合わせ、Verspah (ヴェルスパ)と名付けました。チームのエンブレムは温泉、山、大分県花の豊後梅をあしらったデザインとなっています。チームのマスコットも温泉のイメージからカピバラをチョイスしています。

中島

「温泉の街のクラブ」を意識させるストーリー戦略ですね。 清原会長を筆頭にチームを立ち上げたと伺っておりますが、現 在のJFLという舞台は立ち上げ当初から目指していましたか。

清原

いずれそうなりたいと思い描いてはいましたが、想定より早かったのが正直なところです。

クラブの前身の「HOYOFC」は2003年に大分県の4部リーグからスタートし、当初の目標は九州リーグ昇格でした。県4部から見ると九州リーグは夢のような舞台であり大きな目標でしたが、2010年には九州リーグに昇格し、その翌年の全国地域サッカーチャンピオンズリーグにてJFL昇格が決まりました。その試合は私も観戦していましたが、思わず「嘘だろ?!」という言葉が出たほどでした。

中島

ご案内の通り、弊社の実業団サッカーチーム「ジェイリースFC」は、大分県3部からスタートし、現在は九州リーグに所属、JFL参入を目指して戦っております。

ヴェルスパ大分さんのJFLの昇格の経緯や、現在のご活躍は当クラブの目指す姿です。

JFL昇格について、チームの強さは大前提ですが、それ以外で重要だったことは何でしょうか。

清原

現場とフロントがしっかりと連携し、一体となってJFLを目指し努力してくれたので、その結果だと思っています。監督、GM等、フロントの果たす役割はチームの強さと同じくらい重要なものだと考えます。

中島

当初はホームタウンを別府市・由布市におき、2022年より大分市も追加されたと伺いました。九州リーグでもそうですが、最近は県庁所在地以外をホームタウンとし、県2番手のサッカーチームを目指すクラブが増えている印象です。貴クラブもそのような戦略だったのでしょうか。

清原

そうですね。別府市と由布市をホームタウンにしていただいた のは、もともと当クラブの練習拠点であったこともありますが、大



分トリニータさんとの差別化も1つの理由です。

やはり大分トリニータさんの存在は大きく、差別化し、当クラブの存在価値を確立することは大きな課題でしたので、ホームタウンやチームコンセプトは重要な戦略の1つでした。大分トリニータさんから学ぶべき点はたくさんありますが、ただ真似をすれば良いわけではありません。ヴェルスパにはヴェルスパの強み、ブランドを更に確立する必要があります。

中島

当クラブも、立ち上げを決めた際、大分県にはすでに大分トリニータさん、ヴェルスパ大分さんが上のカテゴリーで活躍されていましたので、サッカーを頑張るだけのチームは必要とされない、どのような付加価値をつけるかが重要であると考えました。当社は大分県で創業し、地域に恩返しをしたいという想いが強くありましたので、「スポーツを通じたまちづくり」をコンセプトに掲げました。貴クラブも様々な地域貢献活動に尽力されていらっしゃることと思いますが、ホームタウンや地元への恩返しの想いが強いのでしょうか。

清原

はい。クラブを運営する上で行政の協力は必要不可欠です。しかしそれはこちらから一方的にお願いをすることではなく、クラブとしてホームタウンのために何ができるかを考え、行動することだと思っています。ヴェルスパ大分は行政やパートナー企業の皆様、地域の皆様に支えられ、ともに成長しています。応援していただくクラブとして、成績に対する責任だけでなく、地域社会に対する責任も同時に果たしていきたいと思っています。

中島

ホームタウンのために行動し応援してもらう。WIN-WINの関係を目指すということですね。

貴クラブでは具体的にどのような地域貢献活動をされていますか。

清原

県内では選手やスタッフが学校で授業を行ったり、地域のイベントや清掃活動に参加する等、幅広く活動をしています。

県外向けにはインターネットを活用し、伝統産業や観光施設、地元企業の情報発信を行っています。県外から観戦に来てくれるアウェイサポーター様に大分県にもっと興味を持っていただき、大分県の豊富な観光産業を更に活用するお手伝いができれば嬉しいですね。

中島

当クラブでも学校や老人ホームの訪問、清掃活動への参加等、 模索しながら地域貢献とSDGsに取り組んでいますが、視点を広 げて、県外向けのアピールも必要ですね。勉強になります。

サッカーと一括りでも、Jリーグ、JFL、地域リーグ、県リーグとカテゴリーは様々で、それぞれのカテゴリーで求められる役割を理解し、それぞれの存在価値を高めることが、大分県のサッカー界を更に盛り上げる一手になりますね。我々はまだまだ発展途上のクラブですが、成績、地域貢献の両方にこだわりながら、ヴェルスパ大分さんのようなクラブに成長していきたいです。

清原

ジェイリースFCさんのピッチ内外でのご活躍には注目していま



す。ジェイリースFCには元大分トリニータの選手、ヴェルスパ大分の選手も多く在籍しており、サポーターからしても、応援していた選手が地元に戻ってきて、再びサッカーをしている姿を見られることは嬉しいことです。選手のセカンドキャリアの面でも、大分県下でジェイリースFCさんが担う役割は大きいものだと思います。

中島

ありがとうございます。おかげ様で少しづつ応援してくださるサポーター様も増えてきました。応援していただけることのありがたさ、サポーターの力というものを実感しています。

これからもサポーター獲得、地域から愛されるチームを目指してまいります。

洁原

大分トリニータさん、ヴェルスパ大分、ジェイリースFCさん、それぞれで昇格を目指し、大分県のサッカーを更に盛り上げ、大分県全体を盛り上げていきたいですね。

中島

よろしくお願いいたします。本日はヴェルスパ大分さんについて のお話をお伺いしましたが、貴グループには9つの会社があり、製 造工業関連や自動車関連等多岐に渡る展開をされていますね。

清原

グループでは「地域密着、目指すは世界」というキーワードを掲げ、地域と世界を繋げるサービスに力を入れています。様々な分野が連携することで新しいサービスを作り出すことを目指しております。キーワードはヴェルスパ大分にも繋がっています。チームとして良い成績を残すことはもちろん、ヴェルスパ大分を、そして大分県をもっと世界に発信していきたいと思っています。

中島

私は貴グループの株式会社ライネスにて取り扱っている焼酎「神々」が大好物でして、行きつけの店には全て置いてもらっています。

当社も家賃債務保証業に主軸を置いていますが、不動産の総合商社を目指し、様々なサービスを展開していきたいです。

本日はありがとうございました。



©VERSPAH OITA

ヴェルスパ大分

〒870-0887 大分県大分市二又町三丁目1番14号kyoeiビル1F

※本会談は新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施しています。
※1 Jリーグ百年構想クラブ

→Jリーグによって認められた将来Jリーグへの入会を目指すクラブ

ピジェイリース レポート

ニュースリリース 2022/11/1~2023/1/20

202212月2日

大分トリニータ 2023年ユニフォーム(パンツ裏)スポンサー契約およ びジェイリースFCのユニフォーム(パンツ裏)スポンサー契約締結に ついて



202212月7日

福岡支店移転

新オフィスの様子はP22にてご紹介いたします。



2022 12月22日

「一般財団法人ジェイリース奨学基金」の奨学生認定授与式について 詳細はP21をご覧ください。



詳細はQRコードより ご確認ください。

2022 12月23日

家賃債務保証業者登録制度の更新完了

当社では2017年より、国土交通省の告示による家賃債務保証業者 の登録制度に登録しております。

この度、有効期間満了に伴う登録番号の更新が完了いたしました。



詳細はQRコードより ご確認ください。

更新前:国土交通大臣(1)第20号 更新後:国土交通大臣(2)第20号

2022 2月27日 大分中央警察署より防犯活動に貢献した企業として感謝状をいただ きました

2022年12月23日(金)、大分中央警察署内にて、犯罪防止啓発活動 への取り組みに対する感謝状授与式が行われ、防犯活動に貢献した 企業として感謝状をいただきました。



IR情報 2022/11/1~2023/1/20

2022 11月7日

関電不動産開発株式会社との業務委託契約の締結に関するお知らせ

当社は、関西電力グループの中核を担う関電不動産開発株式会社(本 社:大阪府大阪市 以下、関電不動産開発と表記)と業務委託契約を締 結し、関電不動産開発が管理する事業用賃貸物件を対象に保証サー ビスの提供を開始しましたので、お知らせいたします。



2022 11月8日

2023年3月期第2四半期 決算発表(連結)

決算説明会動画はこちら⇒



2022 11月14日

株式会社リアルネットプロが提供するオンライン入居申込機能 「WEB申込プロ」とのAPI連携開始のお知らせ

当社は2020年11月よりリアルネットプロの「WEB申込プロ」と連携 を開始しておりますが、2022年11月16日より「WEB申込プロ」と APIによる連携を開始することで、よりスムーズでスピーディーな保証 審査が可能となります。



2022 11月30日

沖縄地区/業務開始準備室 開設のお知らせ

当社は、更なる地域密着の店舗ネットワーク並びにサービスの拡充による業容の拡大を目的とし、沖縄支店(沖縄県那覇市)出店(2023年2月予定)を目指して、沖縄地区/業務開始準備室を開設し業務を開始いたしました。



詳細はQRコードより ご確認ください。

2022 12月1日

第20期中間レポート公開



詳細はQRコードより

2022 12月1日

空室期間中の通電代行サービス提供開始のお知らせ

当社はDUALホールディングスと提携し、「通電代行サービス」を開始いたしました。本サービスは、空室期間の通電・廃止手続きを代行し、空室期間中の電気料金を無料とすることで、不動産会社さまの抱える業務負担やコストを軽減します。当社にとっては、既存取引先の囲い込みや、新規取引先の獲得の効果が期待されます。



羊細はQRコードより ご確認ください。

2022 12月20日

(一社)全国不動産協会及び全日ラビー少額短期保険(株)との業務提携による (公社)全日本不動産協会会員の不動産事業者向けサービス開発開始のお知らせ

今回の業務提携では、(一社)全国不動産協会が100%出資している全日ラビー少額短期保険の家財保険料の収納代行業務を付帯した家賃保証サービスを構築・開発し、2023年度より全日会員事業者を対象に家賃保証サービスの提供を開始する予定です。



詳細はQKコートより ご確認ください。

2023 1月10日

新たな与信審査モデル開発のお知らせ

詳細はP11をご覧ください。



詳細はQRコードより ご確認ください。

2023 1月13日

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

詳細はP10をご覧ください。



詳細はQKコートより ご確認ください。

2023 1月13日

新たな人事制度の導入に関するお知らせ

詳細はP12をご覧ください。



詳細はQRコートより ご確認ください。

ニュースリリースやIR情報は当社HPにて随時更新しております。 https://www.j-lease.jp/



たしかな家賃保証

